

大門坂

大門坂は、熊野古道でも特に風光明媚な場所のひとつです。約 600 メートルにわたって合計 267 段の石段が続くこの坂の高低差は 100 メートル以上です。坂を上り切ったところには、熊野那智大社と青岸渡寺、そして那智大滝があります。

行き方

この道を進むと石段につきあたります。その石段を登って舗装された道を進み続けると、大きな石の鳥居に到着します。鳥居の向こうには鮮やかな朱塗りの振ヶ瀬橋があります。この橋は俗世と聖域の境界でした。たとえここまで馬でやってきた参詣者でも、振ヶ瀬橋から先は馬から降りて自分の足で歩かなくてはなりませんでした。

大門坂道中

正式な大門坂の入り口は、樹齢約 800 年とされる巨大な夫婦杉によって標されています。夫婦杉のすぐ向こう、右側には多富気王子跡地を示す石碑があります。王子社は参詣道沿いの諸神社でした。熊野詣の最盛期には 100 社近くの王子社があり、多富気王子は、那智大滝に至る道中最後の王子社でした。

大門坂をさらに進むと、かつて関所があった場所を示す小さな木の看板があります。通行料は 11 文で、これは銭湯一回分よりは高いけれどそば一杯よりは安いくらいの料金でした。この場所からは那智大滝もよく見えます。